

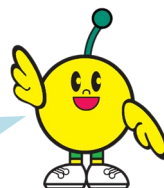
小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、昔大きな地震があったみたいだけど、今はどうなっているのかな？
ニュースや新聞では「**廃炉**」や「**処理水**」ってよく見るけど、なんだか難しそうだなあ…

そんな福島についての疑問を、わかりやすく紹介したのが、
「**小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ**」なんだ！
10の疑問に分かれていて、最後には**クイズ**もあるみたいだよ。



福島県
復興シンボル
キャラクター
「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

掲載ページ二次元コード



ページ例



◇小中学生向け◇

10の疑問から学ぶ ふくしま復興のあゆみ

Aの写真是何をしているところかわかるかな？
これは田村市の郡郷地区にある「ホップガーデンブルワリー」で、ビールの原料となるホップを収穫しているところだよ。
ここでは、ホップの収穫からビールへの加工、醸造までを一貫して行っていて、作る過程で出たホップのかすを肥料として活用するのよ、地域にやさしいまちづくりをしているんだ。

Bの写真是「みやこスイーツゆい」の地元産の卵を使った「ゆいプリン」だよ。**C**の写真是、郡郷小学校の6年生が開発した地元産キウリを使ったジャム「郡郷キウリマン」だよ。
郡郷地区では、2014年4月に避難指示が解除されたあと、様々な特産品が生まれて、復興に貢献しているんだ。

福島県
2024年3月25日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では**最大震度6強**を記録し、地震で建物が崩れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

この地震で亡くなった人は、**4,174人**※(2024年2月1日時点)。そのうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は、1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は2,343人で、このようにして亡くなってしまうことを、「**二次災害**」というよ。
※死者が報明されていない、ご亡くなった方として追悼されている方など226名を含む

④ 廃炉作業ってなんだろう？

原子力発電所は、今は「**廃炉**」に向けて作業が進められているよ。廃炉とは、原子力発電所の運転を停止して、解体することさ。今は、主に**4つの作業**に分けて進められていて、全て終わるまでには、30年から40年かかるというわ。

廃炉作業の内容

- ① 作業員保護用スーツからの放射性物質の除去
- ② 立退きエリアの放射性物質の除去
- ③ 汚染水の対策
- ④ 汚染物の対策

- ・ 震災から13年以上が経過し、風化が進む中で、若い世代への**記憶と教訓の継承**が課題となっています。
- ・ 未曾有の複合災害の記憶と教訓を「**自分事**」として捉え、復興に向けて挑戦を続ける本県の姿を学ぶきっかけを作るため、復興の状況を分かりやすくまとめた資料です。
- ・ 復興に関する**10の疑問**に答える形で、説明には図や写真、グラフを多く使用するなど、小中学生にも分かりやすい内容としていますので、是非ご覧下さい。